

沖縄「復帰」50年特別企画
作・知念正真『喜劇 人類館』

【公演日時】 11月3日(祝・木)19:00／4日(金)19:00／5日(土)19:00／6日(日)14:00

*開場は開演の30分前

【会場】 那覇文化芸術劇場なはーと 小劇場

【チケット】 ★好評発売中!★

全席自由 一般 2,500円 / U24(24歳以下)1,000円 / 障がい者割引 20%(介助者の方は1名まで無料)

*当日券は500円増 *未就学児入場不可

【チケット取り扱い】 那覇文化芸術劇場なはーとチケットサービス TEL:098-861-7810

窓口:営業時間 10:00-19:00 (第1・3月曜日休館、ただし祝日の重なった場合は翌日が休館)

WEB:<https://www.nahart.jp> (24時間対応)

各回公演後、ゲストを招いてのトークを行います!

■11/3(木・祝)19:00 開演

【県外からみた『人類館』】

ゲスト:長塚圭史(俳優/KAAT 芸術監督)、兼島拓也(劇作家)

出演:佐藤尚子(演出/青年劇場)、知念あかね(演出)

■11/4(金)19:00 開演

【『人類館』の登場人物】

ゲスト進行:津波信一(俳優/TEAM SPOT JUMBLE/前回の男役)

出演:今科子(キャスト)、仲嶺雄作(キャスト)、西平寿久(キャスト)

■11/5(土)19:00 開演

【「人類館事件」と『喜劇 人類館』】

ゲスト:小原真史(『帝国の祭典』キュレーター)

出演:知念あかね(演出)

■11/6(日)14:00 開演

【『人類館』と知念正真】

出演:上江洲朝男(企画監修)、キムウネ(企画監修)、知念あかね(演出)

【取材申込・お問い合わせ先】

那覇市文化振興課/那覇文化芸術劇場なはーと

担当:土屋

C-BUNKA126@city.naha.lg.jp

電話 098-861-7810 FAX 098-861-7870

『じんるいかん人類館』とは？

1903年、大阪で開催された第5回勸業博覧会会場近くの見世物小屋で、「学術人類館」と称し、様々な地域の人と一緒に琉球人も展示されるという「人類館事件」が起きた。『人類館』はこの事件をモチーフに、皇民化教育、沖縄戦、米軍統治とベトナム戦争、本土「復帰」も織り込み、沖縄が辿った歴史を鋭い風刺で描き出す。1976年に初演され、78年には「演劇界の芥川賞」と呼ばれる岸田戯曲賞を受賞した。



知念正真 (ちねん・せいしん) 1941~2013

劇作家。沖縄市生まれ。コザ高校卒業後、東京の二松学舎大学に入学するも中退。61年に劇団青年芸術劇場に研究生として入団、63年に退団、帰郷。演劇集団「創造」にて、俳優・演出家として活躍。『人類館』によって沖縄の作家として初めて岸田戯曲賞を受賞したのは、基地の街コザに根をおろした人間の悲喜劇を書き続けた。

【演出】

佐藤尚子(さとう・たかこ)

栃木県足利市出身。俳優、演出家。1981年より青年劇場に入団。藤井ごうや鶴山仁など演出家の舞台に数々出演し、小学校・高校でのワークショップでも講師を務める。また、沖縄をテーマにした作品の創作にも数多く関わる。主な出演作品『翼をください』(作・演出：ジェームス三木)、『キジムナー・キジムナー』(作：高橋正圀、演出：松波喬介)、『普天間』(作：坂手洋二、演出：藤井ごう)、『真理の勇氣-戸坂潤と唯物論研究会』(作：古川健、演出：鶴山仁)など。



知念あかね(ちねん・あかね)

沖縄県那覇市出身。演奏家、音楽講師。高校・大学で音楽を学び、演奏活動と指導等、長年クラシック音楽の普及に携わる。2013年に亡くなった父知念正真の作品が廃れてしまう事を危惧した愛好家からの熱い要望を受け、20年「AKN プロジェクト(AKNP)」を発足し副代表に就任。知念作品を中心に戯曲、音楽、文学等の芸術活動を通して「沖縄の若年層が楽しめる舞台作り」をテーマに活動。21年には喜劇「人類館」公演を初プロデュースし無料配信を行う。再生回数は5日間で一万回を超え、大きな話題となった。



【出演】

今 科子(こん・しなこ)

沖縄県北谷町出身。青年劇場入団を経て、現在は東京・沖縄を中心に映像作品や舞台へ出演、沖縄ことばの指導にもあたる。主な出演作品に映画『島守の塔』、NHKドラマ『返還交渉人～いつか、沖縄を取り戻す～』など。沖縄ことばの指導には定評があり、NHK連続テレビ小説『ちむどんどん』(2022 年前期)や舞台『hana-1970、コザが燃えた日-』(演出:栗山民也)など映像や舞台、ラジオドラマなど幅広く活躍している。母は演劇集団創造で活動し、『人類館』初演時に「陳列された女」を演じた今秀子。



仲嶺雄作(なかみね・ゆうさく)

1976 年、沖縄県那覇市出身。96 年演劇集団創造『仲村渠鉄男くんのパーマネントバケーション』に出演。03 年には劇団太陽(ティーダ)『The Keystone of the Pacific』でエディンバラ国際演劇フェスティバルに参加。10 年には古堅晋臣と演劇ユニット「ukulele bowl(ウクレレボウル)」を始動。17 年わが街の小劇場の月1企画にて、制作・演出・出演・受付を一人で行う「挑む！」を執行するなど沖縄県内で勢力的に演劇活動を続ける。さらに CorRich 舞台芸術まつり！2022 でグランプリを受賞した『9 人の迷える沖縄人』には記者役で出演。



西平寿久(にしひら・としひさ)

1983 年、沖縄県那覇市出身。友人に誘われて参加したオーディション(名古屋)からドラマに出演したことがきっかけで俳優を志す。東京での活動中に沖縄公演を行ったことから、沖縄に戻ることを決意し、2014 年劇団「リバースザワールド」を旗揚げ。劇団での主な演出・出演作品に『心の花』『オカマバーTENDER』など。『島守の塔』(2022 年)では舞台版と映画版の両方に出演。テレビドラマは QAB『パナウル王国物語』、RBC『尚円王』など。俳優のかたわら、那覇市で「壺屋演劇場かさね」を運営し、沖縄の演劇界の間口を広げている。



【スタッフクレジット】

演出補佐・舞台監督:加納朋之 方言指導:花城清長 音響:當眞 彰 照明プラン:棚原栄作(株式会社エムエルスタジオ)

照明オペレーター:足立信明 制作助手:喜舎場 梓 演出助手:上地竜司 宣伝美術:アイデアにんべん

協力:青年劇場、文学座、アニメ・エージェンシー、劇団リバースザワールド、TEAM SPOT JUMBLE、BOOK Cafe & Hall ゆかるひ、アトリエ銘苅ベース

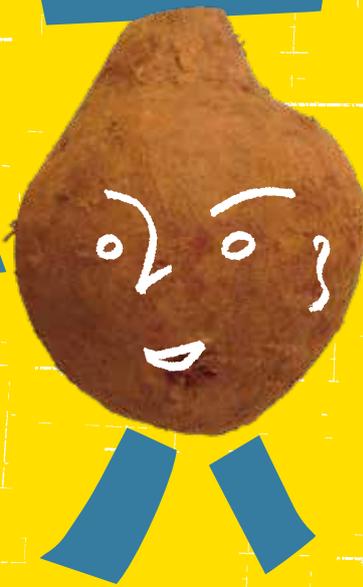
主催:那覇市 企画制作:那覇文化芸術劇場なはーと、AKN プロジェクト

彼らはなにゆえに差別されるのでありましょうか

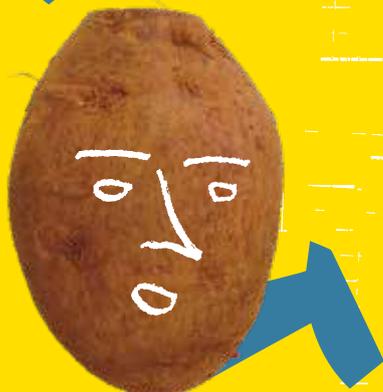
喜劇



な



は



会場・那覇文化芸術劇場なはーと小劇場

作・知念正真 (第22回岸田國士戯曲賞受賞)

演出・佐藤尚子、知念あかね

企画監修・上江洲朝男、金閨愛

2022年11月

6日	5日	4日	3日
日	土	金	木
14時	19時	19時	19時

主催：那覇市 企画制作：那覇文化芸術劇場なはーと、AKN プロジェクト

悲劇は覚めた視点で相対化することによって

喜劇たらしめることができるのだ。

そして、現在特にそれが必要なのだと思う。

「際限のないリフレイン」を断つ、

新たなドンデン返しのために。(知念正真)

那覇文化芸術劇場なはーとでは、沖縄「復帰」50年特別企画

として、作・知念正真「喜劇 人類館」を上演いたします。

沖縄が経験してきた様々な歴史の場面を「人類館」の中で

白昼夢のように次々と見せるこの作品は、今なお表現の私たちとして新鮮でありつづけています。

作品を受け継ぎ知念正真を誰よりも知る娘の知念あかね

と、青年劇場での豊富な経験を持つ佐藤尚子^{たかこ}の共同演出で、新たに立ち現れる沖縄演劇の傑作にご期待ください。

● 『人類館』とは？

じんるいかん

1903年、大阪で開催された第5回勸業博覧会会場近くの見世物小屋で、「学術人類館」と称し、様々な地域の人と一緒に琉球人も展示されるという「人類館事件」が起きた。「人類館」はこの事件をモチーフに、皇民化教育、沖縄戦、米軍統治とベトナム戦争、本土「復帰」も織り込み、沖縄が迎った歴史を鋭い風刺で描き出す。76年に初演され、78年には「演劇界の芥川賞」と呼ばれる岸田國士戯曲賞を受賞した。

● 知念正真

ちねんせいしん

劇作家。沖縄市生まれ。コザ高校卒業後、東京の二松学舎大学に入学するも中退。61年に劇団青年芸術劇場に研究生として入団、63年に退団、帰郷。演劇集団「創造」にて、俳優・演出家として活躍。「人類館」によって沖縄の作家として初めて岸田國士戯曲賞を受賞したのは、基地の街コザ(沖縄市)に根をおろした人間の悲喜劇を書き続けた。

沖縄「復帰」50年特別企画

喜劇 人類館

作・知念正真

演出・佐藤尚子、知念あかね

企画監修・上江洲朝男、金閨愛

出演・今科子、仲嶺雄作、西平寿久

演出補佐・舞台監督・加納朋之(文学座)

方言指導・花城清長

音響・菅真彰

照明プラン・棚原栄作(株)エムエルスタジオ

照明オペレーター・足立信明

制作助手・喜舎場梓

演出助手・上地竜司

宣伝美術・アイデアにんべん

協力・青年劇場

アニメ・エージェンシー

劇団リバースザワールド

TEAM SPOT JUMBLE

BOOK Cafe & Hair ゆかるひ

アトリエ銘刈ベニス

主催・那覇市

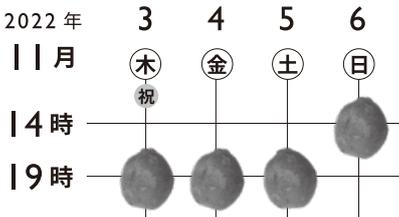
企画制作・那覇文化芸術劇場なはーと

AKNプロジェクト



配信公演の舞台写真(2021年)より今回公演の出演者とは異なります。

日時



*開場は開演の30分前

*各回公演後、ゲストを招いてのトークを予定しております。

詳しくは、なはーと WEB サイトにてご確認ください。

【ご来場にあたってのお願い】

ご来場前に、なはーと WEB サイトにて「那覇文化芸術劇場なはーとにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を必ずご確認ください。

チケット

全席自由・税込

一般 2,500円 U24 1,000円 (24歳以下)

障がい者割引 20% (介助者の方は1名まで無料)

*未就学児入場不可 *当日券は一般、U24ともに500円増

*U24のチケットをご購入の方は、当日受付にて身分証のご提示をお願いします。

*障がい者割引でご購入をご希望の方は、事前にお電話またはメールにてお問い合わせください。

当日受付にて障害者手帳の提示をお願いします。なお、車椅子スペースには限りがございます。

那覇文化芸術劇場なはーとチケットサービス

窓口：営業時間 10:00-19:00(休館日を除く)

WEB：https://www.nahart.jp(24時間対応)

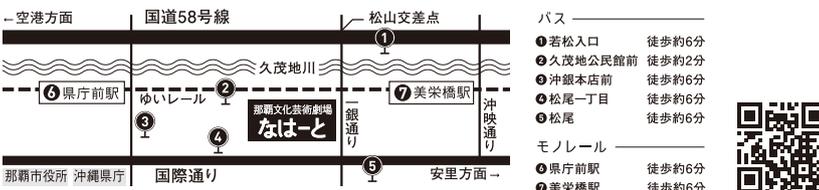
チケット発売日 2022年8月27日(土)10:00

問い合わせ

那覇文化芸術劇場なはーと

TEL：098-861-7810 受付時間：10:00-19:00(休館日第1・第3月曜日：祝日の場合は翌火曜日)

WEB：https://www.nahart.jp



那覇文化芸術劇場なはーと

NAHA CULTURAL ARTS THEATER NAHART

沖縄県那覇市久茂地3丁目26-27 tel.098-861-7810

駐車場は関係者専用となります。近隣の有料駐車場や公共交通機関をご利用ください。

